

金沢大学 × 北陸農政局 共創事業

全体テーマ

「ポーっと食べてんじゃねーよ！」

4月19日
案内開始

5月21日

平日5限

70名(学生)

講演

能登のスイーツが世界ー！

本プログラムの序章は、「マルガージェラート」を展開し、Sherbeth Festival(イタリア、2017)でアジア人初の世界チャンピオンに輝いた今注目の柴野大造氏(石川県能登町出身、世界ジェラート大使)を迎え、普段は聞くことができない学生時代から現在に至るまでの成功の軌跡、こだわり続けてきたこと、ふるさと能登に対する熱い思いを語ってもらいます！ふるさとのイイところを探し、地域興しにつなげる議論のスタートです。

6月15日

土曜日

16名(学生)

マーケティング アイデアソン

あなたのスマホが農業を救う！

プログラム第2弾は自由な発想がテーマ。「田んぼを疾走する自動運転トラクター」、「ネットで農産物販売」、「農家から直接農産物を購入するのがファッションの一部？」…、今、「農業」がみんなが知っている「農業」からずいぶん変わっています。お客様に選んでもらうためにどのように販売するのか、どのように魅力を伝えるのか。学生の視点で、アイデアを出しまくろう！

夏休み

8~9月

31名(学生)

体験プログラム

感じよう、ふるさとのイイところ！

プログラム第3弾は学びがテーマ。何もない山間地を観光資源に変える？田畑がアートに？普段何気なく見ているモノに、新たな魅力を見つけ、お客様を惹き付ける。現場で働く若い農家の皆さんは、壁を乗り越えるために、どんな工夫をしているのでしょうか。ただ売り込み上手になるのではなく、実際に触れて感じて悶絶？することで、学生ならではの視点で価値を見つけ伝えよう！

11月9日

土曜日

20名(学生)

アグリソン

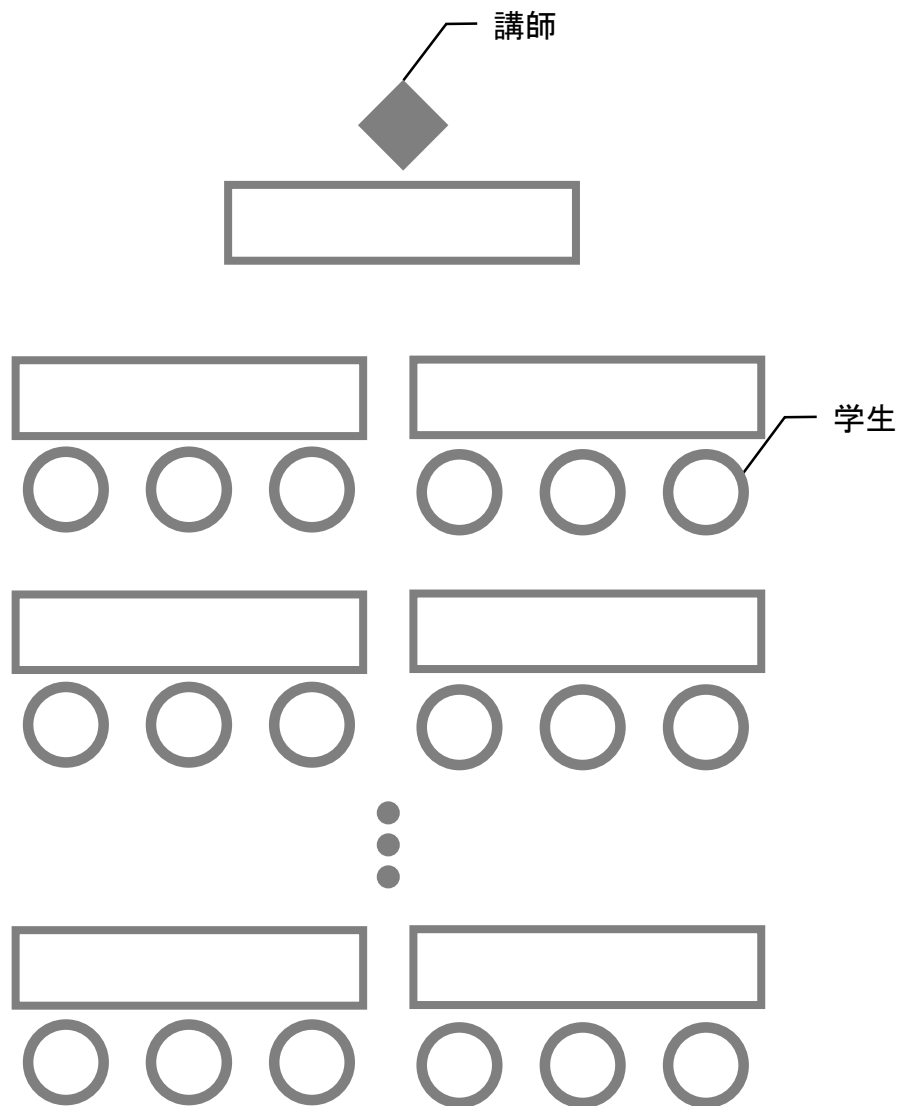
あなたがブームの火付け役に！

プログラム最終章は、全体を通じて感じ、考え、気づいたこと、普段から思っていることをベースにして、若い農業者や金沢で活躍している企業の人と一緒に、Emotionalな地域と一緒にプロデュースしませんか。就職？働く？リアルなビジネスの世界に触れることで、自分の可能性や、将来を考えるきっかけにできるかもしれません。

講演 (5月21日) 16:30~18:00

於：金沢大学

自然科学大講義棟レクチャーホール



【講師】

株式会社マルガー

代表取締役 柴野 大造 氏

学生時代から現在に至るまでの成功の奇跡、ふるさと能登に対する思いなどを語ってもらう。

(プロフィール)

石川県能登町出身。家業である酪農に就農後、ジェラートに取り組み、2017年 Sherbeth Festival (イタリア・パレルモ) でアジア人初の世界チャンピオンに。

世界ジェラート大使 (ローマ)、ユネスコ平和メッセンジャー、日本ジェラート協会副会長、能登町ふるさと大使等。

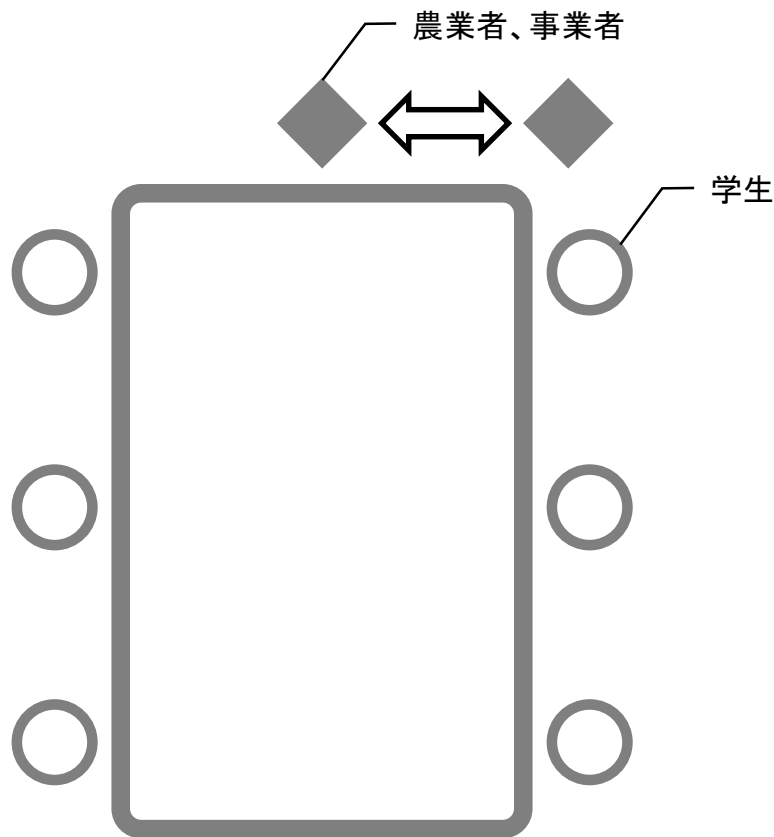
【目標】

今後の大学での学びや就職に向けての「問題意識」の醸成の機会とする。また、アイデアソン参加への動機づけの機会とする。

マーケティング アイデアソン

(6月15日)10:30~16:30 於:学生のまち市民交流館

交流ホール



×

6 グループ

【テーマ】

「あなたのスマホが農業を救う！」をテーマにし、魅力発信のためのアイデアを考案。

【実施方法】

学生6名で1グループを形成。

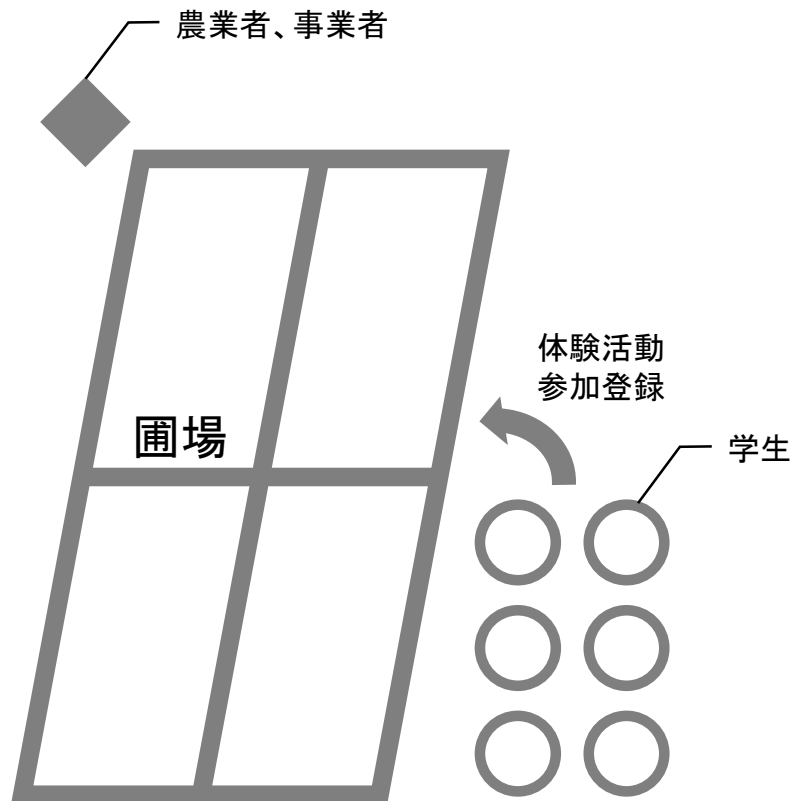
議論を活発化させる観点から、冒頭で農業者及び地元事業者から「現状と課題」を発表してもらい、グループディスカッション中はアドバイザーとして各テーブルを巡回。

【目標】

課題解決に向けたアプローチに多様性があることを理解しつつ、自らの発想の豊かさを実感する。

体験プログラム(8~9月)

於:各圃場、各店舗等



8 グループ

【テーマ】

各農業者、事業者のフィールドや店舗等において、学生がビジネスの構造や課題を理解し、新たなアイデアのためのイメージを膨らませることができるようなプログラムを提供。

【実施方法】

プログラムの内容と実施日を示して、参加学生を募集。

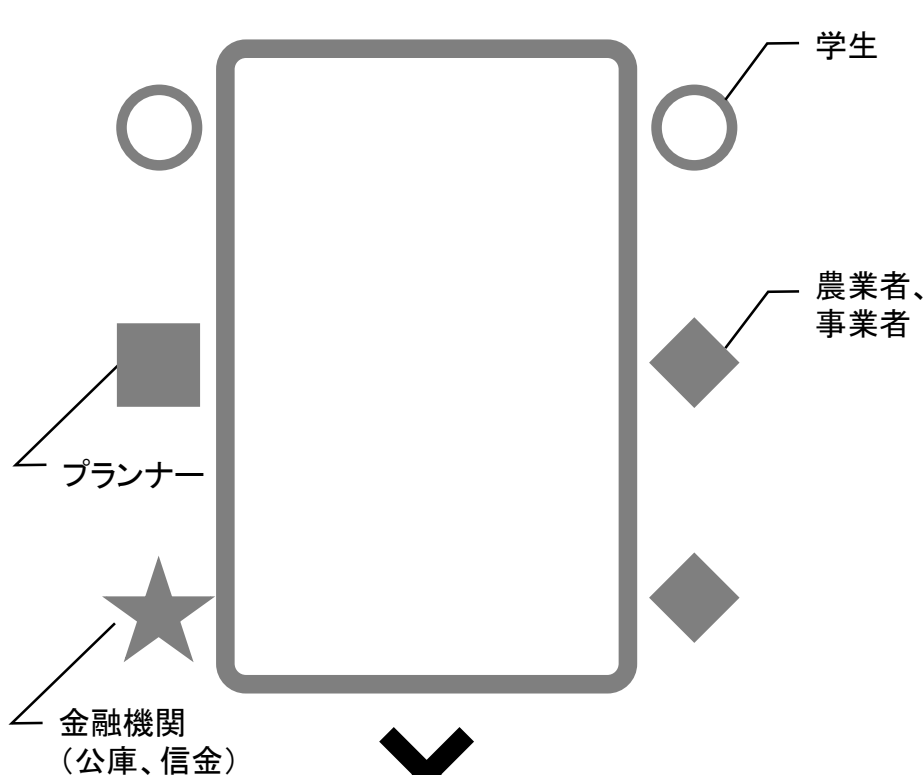
※公費での費用負担は原則なし。

【目標】

実際のビジネスには、厳しい制約条件があり、優れたアイデアでも、実際に採用するまでには様々な課題を解決する必要があることを理解。

アグリソン(11月9日)10:30~16:30 於:金沢大学サテライト・プラザ

1階 交流サロン



×

6グループ

【テーマ】

グループワークを通じて生まれたアイデアをベースに、ビジネスプランを構築。

【実施方法】

学生数名＋農業者数名＋プランナー＋金融機関で1グループを形成。

議論を活発化させる観点から、農業体験で参加した農業者がいるグループに配属。

【目標】

ユニークでかつ現実的なビジネスプランを考案。